

科目	地理探究	学年	第3学年	開講	通年	必修	2 単位
----	------	----	------	----	----	----	------

学習目標	現代世界の諸課題を地球的視野でとらえ、持続可能な社会の在り方について探究する力を身につけていく。諸地域の歴史的背景を踏まえながら系統地理的な認識を養うとともに、地域的な枠組みから世界の諸地域を地誌的に考察し、国際社会に主体的に生きる人としての自覚と資質を養う。
------	--

教科書： 帝国書院 「新詳地理探究」(2年より継続) 「新詳高等地図」(1年より継続)

副教材： 帝国書院 「新詳地理資料COMPLETE」(1年より継続) 「新詳地理探究演習ノート」(2年より継続)

<学習計画及び評価方法>

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点					
							a	b	c			
前期	現代世界の地誌的考察	現代世界の地域区分と諸地域 現代世界におけるこれからの日本の国土像	東アジア	・歴史的背景と関連づけて考察する。 ・国・地域ごとの地域区分とそれぞれの特徴について理解する。 ・それぞれの国の地域区分に基づき、自然環境や工業、農業などの項目ごとに比較し考察する。 ・各国の日本との結びつきを考察し、地域特色への理解を深める。 ・宗教と生活の関わりや文化的な取り組みについて考察する。	4 5 6	中間	○	○	○			
			東南アジア				○	○	○			
			南アジア				○	○	○			
			西アジアと中央アジア				○	○	○			
			北アフリカとサハラ以南のアフリカ				○	○	○			
			ヨーロッパ				○	○	○			
			ロシア		7 8 9	期末	○	○	○			
			アングロアメリカ				○	○	○			
			ラテンアメリカ				○	○	○			
			オセアニア				○	○	○			
			将来の国土の在り方				○	○	○			
			前期 授業評価						○	○	○	
			後期		系統地理・地誌のまとめ	地理総合	大学入学共通テスト対策 大学入試対策	総合力養成問題を中心に弱点の確認と強化をおこない、志望大学合格の実力を身に着ける。	10	学年末	○	○
11	○	○		○								
12	○	○		○								
2	○	○		○								
3	○	○		○								
後期 授業評価						○	○	○				

評価の観点 評価方法	志望大学の合格にむけて、自分の弱点を克服し確実に得点力を伸ばすことができたか。 <評価算出方法> 各観点100点満点で算出する。 ○知識・技能 : 定期考査(70%) + 小テスト、重要語句の確認、資料集・地図帳・統計資料での確に調べ学習ができることなど(30%) ○思考・判断・表現 : 定期考査(60%) + レポート、プレゼン力(発表力、表現力)など(40%) ○主体的に学習に取り組む態度 : 平素の授業態度、提出物、出席率、ノート、発言、忘れ物、授業準備など(100%)
---------------	--